

下京区西部エリアの活性化を目指す検討会議

第一回 議事録

1. 日時

平成 24 年 7 月 24 日（火） 14 : 00～16 : 00

2. 場所

緑の館 1 階イベント室（下京区観音寺町 56-3 梅小路公園内）

3. 資料

資料 1 下京区西部エリアの活性化を目指す検討会議委員名簿

資料 2 座席表①及び座席表②

資料 3 「下京区西部エリアの活性化を目指す検討会議」設立趣意書

資料 4 下京区西部エリアの活性化を目指す検討会議設置要綱

資料 5 井筒講師からの配布資料

資料 6 下京区西部エリアのマップ及びエリア内の主な地域資源一覧

冊子「はばたけ未来へ！京プラン実施計画」

冊子「下京区基本計画」

冊子「京都歩く下京時遊自在」

4. 参加者

別紙参照

5. 議事録

（1）開会

- 事務局：京都市総合企画局政策企画室政策企画課・西窪課長より

本日は皆様御多忙のところ御出席をいただきまして、誠にありがとうございます。定刻となりましたので、ただ今から第 1 回下京区西部エリアの活性化を目指す検討会議を開催させていただきます。私、この会議の事務局を務めさせていただきます京都市総合企画局政策企画室政策企画課長の西窪でございます。どうぞよろしくお願いたします。では、会議の開催に当たりまして、門川市長から御挨拶申し上げます。

（2）市長挨拶

- 門川市長

皆さん、こんにちは。ありがとうございます。先ほどからお顔を拝見させて頂いて、本当に素

晴らしいメンバーに委員にご就任頂き、お集まり頂きました。座長をはじめ、皆様本当にお礼申し上げます。ありがとうございます。京都市が一行政区の半分の地域、そこに焦点を当てて、活性化のためにこういう検討委員会を作って、英知を集めて活性化していこう。極めて異例でございます。私はそれだけこの下京西部エリアにはあらゆる可能性がある、そのように実感しております。同時に本音を申しまして、もったいない状態にあるということも事実でございます。京都はもとより、関西の発展のキーワードはこの下京西部地域の伝統と歴史を生かしながらいかに活性化させるか、それに尽きると言っても過言ではないのではないかなと思います。歴史と伝統のまち・京都、宗教都市・京都、東西本願寺はじめ、素晴らしい宗教施設がございます。さらに、伝統産業から先端産業。すばらしい伝統産業があると同時に、リサーチパーク、最先端の研究に取り組んで頂く施設がございます。大学のまち・京都。龍谷大学、また、大学コンソーシアム京都、キャンパスプラザがございます。さらに、日本で最初にできた中央卸売市場がございます。頑張っておられる商店街がございます。また、島原がございます。また、JRの京都駅があり、さらに丹波口駅がある。様々な蓄積がある。先だっても龍谷ミュージアムに寄せて頂きましたが、素晴らしい、感動的でありました。もっともっと、より多くの人にお越し頂きたい。また、井筒さんにこれから講演して頂きますが、風俗博物館がさまざまな地域に根差した、伝統に根差した施設が、これだけ狭いエリアに固まっているのは、この地域最高ではないかなと思います。そのほか、梅小路公園があり、蒸気機関車館があり、水族館ができ、3年後には鉄道博物館ができる。

しかし、本音を申しましてバラバラであります。なんとかしたいということで、私のマニフェストにも書かれ、京都市の基本政策の根幹に位置付けさせて頂きました。これからの時代は、区長中心に力強く進めていこうということで、下京区長である山本区長は、都市計画、まちづくり等の専門であります。今年特に区長および区役所の人事を強力に進めました。京都の1200年のまちは、一体感を持ってやっていくことが大事です。同時に、地域資源という時に、できるだけ組織内分権していこうということで、区長に権限を与えて、そして、区長と区民の皆さんで地域を活力あふれるものにしていこう。そうしたモデルを、下京の西部地域で作って行きたい。このように考えております。間もなく8月5日に、中央市場にすし市場ができます。年末には、同じく中央市場に食文化の発信基地、世界遺産にも申請しております食文化を、この中央市場から、京都から発信していくための拠点施設もできます。そうしたことも進めておりますが、より皆さんと英知を集めて頂きまして、この地域全体が活性化していくように、よろしくお願ひしたいと思っております。

環境問題が一番大事であります。そうした時に、都心部の駅に近いところ、そこを活性化していく。融合していく。これがスマートシティ、スマートコミュニティ、こういうことにもなっていくと思います。かつては山を削り、海を埋め立て、田畑をつぶして家を建てるとか、文化施設を建てるというようなまちづくりが行われました。そのような時代ではありません。今あるものを最大限に生かしながら、できるだけ駅に近い、脱車中心社会。公共交通できちっといける。そうしたところを活性化させていくことが大事。一方で、空き家がたくさんございます。京都市内に十万户を超える空き家がある。そうした空き家、あるいは、災害対策も同時に進めて行きたい。

この下京西部地域から活力あふれるまちづくりを進めて行きたいと思っておりますので、どう

ぞ、皆さんの英知を集めて頂きまして、同時に、それぞれの組織が、さらには連携してしっかりと行動していく。その先頭に、下京区役所が、京都市が、立っていきたいと思いますので、どうぞ皆さん方の御理解、御支援よろしくお願い致します。ありがとうございます。

(3) 下京区長挨拶

- 事務局：西窪課長

ありがとうございます。続きまして、山本下京区長より一言ご挨拶を申し上げます。

- 山本下京区長

下京区長の山本耕治でございます。下京区は東西で4km、南北で2km。そこに8万人を超える皆様がお住みでございます。市の人口で申しますと、ざっと5%でございますが、商業の観点で申し上げますと、小売の売上高では京都市の4分の1強を占める商業のまちでもあります。

そういう中で、先般、梅小路の商店街の方々が、七条第三小学校の三年生と一緒に「にぎわい市」に取り組み、子どもたちがメニューを作ったり、アイスクリームやポップコーンを一生懸命売って、地域のにぎわいを作って行こうというようなことをされておられます。また、リサーチパークでは、エコであるとか防災をテーマとしてイベントを予定され、さらには、京都駅では夏祭りも予定されておられます。市長も言われましたが、この梅小路、水族館を核にしながら、地区全体でこの下京を盛り上げて行こうという取組が進んでいるところでございまして、そういう中で、皆様方と一緒に西部のまちづくりのことを議論しながら、京都市全体に良い影響を及ぼして、Win-Win（ウィンウィン）の関係で進んでいけるよう、私もその一人として一生懸命頑張っておりますので、どうかよろしくお願い致します。

(4) 資料の確認と会議の趣旨説明

- 事務局：西窪課長

続きまして、当検討会議の趣旨を簡単にご説明させていただきます。本日の会議の趣旨につきましては、既に皆様方に設立趣意書でご説明させていただいているところでございますが、本市では、平成24年3月に策定いたしました「はばたけ未来へ！京プラン実施計画」に基づき、民間施設等が多数集積する下京区西部エリアにおいて、これまで個別に進められてきた取組を連動させ、一体的な相乗効果が発揮できるよう民間活力を生かした地域全体の活性化を目的とする将来構想の策定に取り組むこととしたところでございます。

また、平成23年3月に策定致しました「下京区基本計画」におきましても、梅小路公園の新しい水族館や鉄道博物館をはじめとした集客施設のインパクトをまちぐるみで地域の活性化に結びつけ、まちの活力を高めるとともに、地域資源などまちの個性を生かし、魅力を高めることをまちづくりのテーマに掲げております。

そこで、始めの第一歩として当該検討会議を開催し、皆様の横の連携を図る中で地域のポテンシャルや活性化のアイデアについてじっくり検討頂き、地域活性化の機運の醸成を高めてまいりたいと考えておりますので、幅広い議論をよろしくお願い致します。

(5) 座長挨拶

● 事務局：西窪課長

座長のご紹介をさせていただきます。設置要綱第4条第2項に基づき、市長の指名により、コミュニティデザイン研究室代表、同志社大学大学院総合政策科学研究科嘱託講師の谷口知弘様に座長の就任をお願いしております。谷口座長からご挨拶頂きたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

● 谷口座長

皆さん、こんにちは。ただ今ご紹介に預かりました谷口でございます。私は、ここ10年15年くらい、京都市で市民参加のまちづくりが始まった頃から、学生や地域の方々と一緒に公園を作ったり、商店街に入らせて頂いたり、学区の福祉の活動させて頂いたりしてきました。ちょうど門川市長が就任されて、一昨年、基本計画が策定され、各区でも計画が策定されています。基本は協働という概念です。共に作って行こうということでもあります。先ほど市長が、正直バラバラだという話をされましたが、ひとつひとつは輝きを放っている。民間や、お寺さん、地域の自治会であったり、交通機関、様々な取組というのが横で繋がっていないと、とてももったいないと思います。

そこで、大切だと思ったキーワードが2つあります。ひとつは、“創発（そうはつ）”という言葉です。ひとつひとつバラバラだと魅力は足し算にしかならないけれども、横で繋がってネットワークとしての価値を出したら、単なる足し算でなくそれ以上の魅力、力が発揮できるのではないかという考え方です。それを生かしていくために何が必要か。もうひとつ思いついたのが、“ソーシャルキャピタル”という言葉です。これは、「社会関係資本」と訳されますが、地域の人々のつながり、組織と組織のつながり、それってとっても大事な資産ではないかなという考え方です。地域や組織の良好な人の関係、ネットワーク、そしてそこに、規範、信頼が生まれていれば、きっちり横でつながって、まちづくりができていく。そういうネットワークがあつてこそ、今回のように京都市がこういう委員会を作る。場合によっては、コストを投資する。それが実って行く。そういう考え方です。この“創発”と“ソーシャルキャピタル”，これがこの下京のエリアでうまく機能すれば、今よりもずっと素晴らしいエリアになっていくのではないかなと、確信しております。

そこで、とっても大事なのが、ここにいらっしゃる皆さんでございます。今は口の字の席になっていますが、後半はグループに分かれて喧々諤々ワークショップをやりますのでご期待頂きたいと思っております。議事があつて、しゃんしゃんと拍手していたら終わりということではなしに、ここにいらっしゃる皆さん、お一人お一人がそれぞれの組織の立場であったり、場合によっては住民として、働く者として、個人の気持ちも全面に出して頂いて、顔見知りになって、横でつながって、新しい価値、それを生み出していきたいと思っております。私自身もこれだけ広いエリア、ご一緒させて頂くのはチャレンジになります。ぜひ、数年後、「あの委員会頑張った」とみんなから言われる、そういう集まりにしていきたいと思っております。皆様是非ご協力の程、宜しくお願い致します。

- 事務局：西窪課長

谷口座長，ありがとうございます。誠に申し訳ございませんが，門川市長はこの後伏見での市民の方との懇談が入ってございますので，中座をさせていただきます。

- 門川市長

どうぞよろしくお願ひ致します。この庭（朱雀の庭）が平成にできた日本を代表する庭であります。春は桜が美しいですし，夏はさるすべりが桜のようにずっと一か月ほど咲いている。秋は紅葉が美しい。ライトアップしたらものすごく美しい。しかし，蒸気機関車館には行かれてもここはあまり知られてない。

この隣に「いのちの森」というのがある。一昨年，名古屋で開かれた COP10，生物多様性の国際会議で私が発表しましたが，カワセミが戻ってきたんです。狭いところですが，御所よりも生物多様性に富んでいるということで，世界中の学者が注目していた。でも，知っている京都の人は少ないと思います。宝の持ち腐れのような形になっている。京都の人間がこの価値を知って横に繋がり，“創発”ですね。同時に，全国，世界へ発信していくことが大事だと思いますので，生かされていない大切な資産がいっぱいあると思います。何よりも資産というのは人間だと思いますので，素晴らしい実動家の方々にお集まり頂いてますので，宜しくお願ひ致します。

（6）議事

① 講演：「京都の成立と下京区西部エリアの歴史的認識そして未来への展望」

講師：井筒與兵衛氏（株式会社井筒 代表取締役社長）

- 事務局：西窪課長

それでは，議事に入りたいと存じます。検討会議の第1回である本日は，宝永2年（1705年）より「法衣・装束・調度品の制作と販売」の事業を行ってこられました株式会社井筒代表取締役社長井筒與兵衛様に，「京都の成立と下京区西部エリアの歴史的認識そして未来への展望」と題し，講演をお願いしております。それでは，井筒様よろしくお願ひいたします。

- 井筒氏

「京都の成立と下京区西部エリアの歴史的認識そして未来への展望」の講演

② 概説：下京区西部エリアの現況

- 事務局：西窪課長

井筒様ありがとうございます。

それでは，続きまして資料6を御覧頂きたいと思ひます。このマップを使いまして，皆様方に関係する当該地域内の施設を簡単に御説明させて頂きたいと存じます。説明を行いますのは，今回当該検討会議の企画・運営をお手伝い頂く，株式会社事業態開発総合研究所に行ってくださいま

す。それでは、よろしくお願いいいたします。

● 事務局：業態開発総合研究所・モナト

こんにちは。今、ご紹介頂きました今回の事務局を担わせて頂いております、業態開発総合研究所代表のモナトでございます。なるだけ、谷口先生を囲んでのワークショップの時間に割きたいと思っておりますので、冒頭で市長もおっしゃいましたし、今、井筒様のお話にもありましたように、「バラバラであること」の意味とか、それは別としても、「これからどういう形で連携していくか」という視点から、皆様の頭の中に入れて頂くための「地域資源マップ」ということです。今日ご参加頂いている皆様の活動地域をマップに落としてございます。

皆様にはこの後の自己紹介でそれぞれの活動の内容を簡単にお話頂きたいのですが、ご覧頂きますとわかりますように、今、京都駅／梅小路公園／JR 丹波口／五条通りまでを「新しい都市軸」と考えます。しかしながら、これは、もともとあった都市軸ですが、時代によって少しずつ変わっていき、今また新しい光を浴びようとしています。つまり、このエリアが輝くための都市軸として、もう一度再編しようという形でご覧頂くと、イメージとして御理解頂けるかと思えます。ある方が、「ニューヨークにフィスアベニューがあるが、京都もここ五条通りがある。五条通りが日本のフィスアベニューになるのではないか」と。

京都駅からの軸線と、もうひとつは、堀川通りから西大路通り、という一体の流れが回遊性を持ち、連携し、施設間で動きが出てきたら、ひとつの活性化の流れになるのではないのでしょうか。今回皆様にご参加頂いて、それをひとつずつ何らかの形で策を練って、次に伝えていくことができる場として、この検討会議がスタートするというふうに理解しております。引き続き、宜しくお願いい申し上げます。簡単ですが、以上でございます。

③ 自己紹介

● 事務局：西窪課長

ありがとうございました。それでは、議事を進行致します。ここからは谷口座長に司会進行をお願いしたいと存じます。谷口座長、よろしくお願いいいたします。

● 谷口座長

井筒様、どうもありがとうございました。井筒様の話がはじまるとざーっと雨が降り出して、なんか平安の時代に戻されたようでした。黒澤監督の「羅生門」という映画がありますが、あの時の黒い雨と重なって、槍が飛んでくるのではないかと。タイムスリップしたようなお話でした。勉強になりました。実際に物事を進めて行く中で、どっかで思い出した時に、我々の自信になったり、将来を見通す時のひとつの方向性を示して下さるお話ではないかと思いました。ありがとうございました。

それでは、ここから私の方で議事進めさせていただきます。まずは、簡単に自己紹介頂いて、その後、4つのグループに分かれまして、皆さんがお住まいになっている、そして、働いてらっしゃるエリア、知ってらっしゃる魅力と課題を共有しようというワークショップをしていきたいと思えます。あと 50 分しか時間がございませんので、自己紹介を一人一分以内でお願いしたいと思います。

います。私から順番に、次は梅小路活性化委員会の委員長からいきたいのですけれども、右隣の人が一分計って頂けますか？一分経ったら「一分ですよ」と言って下さい。では、私から行きます。

- 谷口座長

出身は宇治田原でございます。緑茶の製法を開発した永谷宗円のふるさと湯屋谷でございます。もともと竹細工職人の家に生まれまして、もうちょっと時代がゆっくり流れていたら、今も私は田舎で竹かごを編んでいたと思います。時代がえらい急に進みまして、こういう席でお話しているということです。地域コミュニティを大切にしていきたい。そういう人のつながりの中から元気なまちづくりができるのではないかなあと考えております。どうぞよろしくお願い致します。これくらいしゃべれますので。どうぞ、順番にお願い致します。

- 市村委員

梅小路活性化委員会の市村と申します。この梅小路活性化委員会と申しますと、母体がほいっと七条と言いまして、京都市内のクレジットの端末で西の方の4商店街でされていたのが、端末を30軒揃えろということで、七条センター商店街と嶋原商店街とがその4商店街に入れさせて頂きまして、6商店街になりました。それをやっている暁に、この水族館の話が持ち上がりまして、6商店街で梅小路活性化委員会、ぐるり梅小路という組織を作りまして、この水族館建設と共に、6商店街、西の方から申しますと、七西甲子会、西七繁栄会、七条中央サービス会、七条千本繁栄会、七条センター商店街、これらが七条通りの5商店街ですが、私だけ嶋原商店街ということで、今後とも梅小路の活性化に頑張らせていきたいと思っておりますので、宜しく願い申し上げます。

- 服部委員

大阪ガスの服部と申します。よろしく申し上げます。私ども、今日はリサーチパークの方も参加させて頂いているということで、厳密に言いますと、リサーチパークの中で間借りをして、大阪ガスという会社がテナントとして入っているという立場です。大阪ガスの場合、言うまでもなく、ガス会社と言うことで、この地域のガスのインフラということでお世話になっております。大阪ガスがリサーチパークに参りましたのは、20数年前でございまして、それまでは御池の烏丸にございました。未だに、大阪ガスといたら「御池のあそこやろ」という認識があるという。なかなか、大阪ガスと言うより、リサーチパークと言う方が、京都では名前が通っているところかと思いますが、エリアに根差したインフラの会社でございますので、なんらかの形でこの地域で貢献できればと思います。よろしくお願い致します。

- 升本委員

オリックス不動産株式会社、今、京都水族館の支配人をしております升本でございます。3、4年ほど前から設置許可の申請から含めまして、ずっと梅小路公園の方で開発に携わりまして、3月にオープンを迎えさせて頂きまして、それから支配人として勤めさせて頂いております。大

きさとしては非常に小さな水族館ではありますが、さきほどありましたように、知的好奇心を満たしていくような水族館として、これからもがんばっていきたいと思っております。京都という地では、新参者でありますけれども、これからこの地域の活性化のために少しでもお役に立てればと思っております。今後ともよろしくお願い致します。

- 奈倉委員

京都駅ビル開発の奈倉と申します。現在の京都駅ビルは平成 9 年に開業致しまして、今年でちょうど 15 年を迎えます。いろいろと皆様方からご意見を頂戴しましたけれども、今 15 年経ちまして、おかげさまで皆様に受け入れられたのではないかと思っております。これまでは京都の玄関ということで、京都に来られる方向けにいろいろとイベントやったり、ご案内をしたりということが中心でしたが、この度 15 年経って、駅ビルの役割を見直していく中で、やはり、下京の方たちと一緒に取り組んでいくという姿勢をもっと打ち出そうということで、さきほど区長からお話ちょっとございましたが、来月 8 月 25 日に初めての試みであります、下京京都駅前夏祭りというイベントを開催致します。皆様もご一緒にまた楽しんで頂ければと思っております。よろしくお願い致します。

- 山本耕治委員

下京区の山本です。都市計画の仕事をして 10 年ほどやっております、この 4 月から下京に参りました。まちづくりに関することなら何でもやっというと思っておりますので、どうかよろしくお願い申し上げます。

- 柴山委員

京都市総合企画局柴山と申します。京都市からは、下京区の山本区長、それから後ほどございますが、第一市場の林次長と一緒にこの議論をやらせていただくことになっております。それぞれ京都市いろいろな部局がございまして、今日ご参画頂いております皆様方とは、関係局区が、いろいろとこれまでも一緒に取組をさせて頂いていたことがあるかと思いますが、市役所の中で横の連携をとということで、関係局が集まりまして、ワーキンググループというのを既に立ち上げておまして、実は今日後ろの方、そのメンバーも参っております。バックアップ出来るだけさせて頂こうと思っておりますのでよろしくお願い致します。個人的には中京の住人なんですが、子供が小さい時、梅小路公園は凧揚げをするのに絶好の場所でした。子供を連れて凧揚げに来ていたのですが、家と梅小路を行ったり来たりするだけで、周りにあまり行かなかった。京都人ではございますが、なかなか地元でそういうところへ行っていないということがございます。この下京の西部エリアの活性化とすることで、議論に加わらせて頂こうと思っております。どうか宜しくお願い致します。

- 山崎委員

京都市観光協会山崎と申します。また、京都総合観光案内所という、京都駅の南北自由通路にあるんですが、そちらの所長も務めております。私どもは、閑散期対策として、京の夏の旅、京

の冬の旅を中心に4大行事の執行支援などを行っております。中でも、下京区西部エリアの活性化につきましては、本日お手元に配布しております京の夏の旅のリーフレットの2ページのところをご覧頂きたいのですが、龍谷大学大宮学舎本館、龍谷ミュージアムを今回、特別公開のひとつとして取り上げさせて頂いております。その下には散策モデルコースなど掲載させて頂いております。また、この3枚もののマップですけれども、梅小路の、「京都フリーウォーク」ということで、なぜかまだオープンしていないすし棟まで掲載しておりますが、これは、音声ガイドでダウンロードして頂きましたら、解説もつくような形になっております。2枚目につきましては、お買い物は地元の商店街ということで、皆様に発信をさせて頂きたいと、このような活動を通じまして、下京区の今後観光面での活性化に繋がるようにということで、支援をしていきたいと考えております。また、本日、水族館様も来られておりますが、京都観光案内所の方では、水族館の方で非常にチケットを買われるのに並ばれておられる状況を勘案致しまして、チケットの販売も近日中にさせて頂くということで、協議をすすめております。その他、西本願寺さん、東本願寺さんもお見えですが、さまざまな社寺仏閣、また、観光名所なども併せて今後も発信して参りますので、宜しくお願い致します。

- 齒黒委員

京都市景観・まちづくりセンターの齒黒でございます。どうぞよろしくお願い致します。私どものセンターは市民と行政とのパートナーシップに基づくまちづくりを目指して、平成9年に設立された団体でございます。今年で、駅ビルさんとちょうど同じですけれども、15年というような年を迎えております。この間に地域へのまちづくりへの取組活動、シンポジウムの開催、また、京町家の保存再生等の支援をずっと行ってきたところでございます。今回、この検討会議にお集まりの皆様、多分、この下京区エリアの中で何らかの事業とかそういったものをされておられるという方々が参画されておられますけれども、私どもセンター、少し立場が違うのかなあと思っておりますが、このまちづくりセンターの特性を生かした形で、この検討会議の中で、一助となればと思っておりますので、どうか宜しくお願い致します。

- 北島委員

座ったまま失礼します。中央卸売市場協会の北島と言います。京都市中央卸売市場協会、何かと申しますと、市場の中に、青果、水産、小売等々で、12の団体がございまして、それを束ねてと申しますか、12の団体全てが参加してひとつの組織が出来ている。それが中央卸売市場協会でございます。私、8年前に、京都市中央卸売市場第一市場の場長をしておりまして、8年前も同じような議論をしていたような。それぞれ知恵を出し合いましたが、本日と同じような話でした。ただ、水族館が出来、鉄道博物館が出来ますと、人の流れも何もかも全部変わってくると思いますので、新たな会が期待できると思います。市場は取引量も取引金額も右肩下がりになっております。業者、開設者挙げて、一丸となって活性化に取り組んでおりますので、皆様ともども勉強していきたいと思っております。今後ともよろしくお願い致します。

- 林委員

中卸売市場第一市場の林でございます。私どもは開設者として、今ご紹介された中央卸売市場協会さんと共に、車の両輪という形で、市民の皆様、周辺の住民の皆様、生鮮食料品をお届けをして参っております。また、多くの皆さまに市場のことをより知って、親しんで頂くということで、鍋まつり等の事業を展開しております。その他の紹介につきましては、資料6に書いて頂いておりますので、それを見て頂けたらと思います。これから皆様と一緒に、いろいろな議論をして参りたいと思います。どうかよろしくお願い申し上げます。

- 北村委員

京都市都市緑化協会の北村でございます。この梅小路公園等の管理をしております。私たちの協会の得意な分野は、緑に関することや日本庭園についてで、これらについてはどのようなことでも相談を受ける体制が整えられております。土曜日、日曜日、祝日には、子供たちの自然体験教室など、年間130回くらい開催しております。梅小路公園は特にこの夏休みから秋にかけては、いろんな団体がイベントを持ちこんでくださいます。文化、芸術、物産なども含めて、いろんな団体がその得意分野を持ちこんで頂いて、この下京区西部地域の活性化のひとつの拠点なり、舞台となることを願っています。どうぞ、よろしくお願い致します。

- 高梨委員

京都地球みらい機構の高梨と申します。理事長は、立命館大学の副学長のモンテ・カセム先生です。スリランカの方で、日本人以上によく日本のことを知っている方です。その方と一緒に立ち上げています。機構のうたい文句というか、狙いは、地域のコモングのイノベーションということで、先ほどの井筒社長の言われた学ぶ姿勢と変化する姿勢というところとちょっと通じていると思います。それと、人材育成を図るということで、割と皆さんプロの集団として、地域活性化をお手伝いするようなことを考えてこれからすすめていきたいと思っておりますので、何かお役に立てるようなことで発言できたらと思います。よろしくお願い致します。

- 山本芳孝委員

京都府旅行業協同組合の山本と申します。60社ほどの中小の旅行会社が京都府内で作っております。今までは京都から他府県にお客さんを送り出すのが仕事だったんですが、最近は特に、門川市長になられてから、京都の観光資源を活用して全国からお客さんを集めるということで、そういうことのご協力もさせて頂いております。この地区もこれからもっと知名度を上げて頂いて、残念ながら京都の北部の者はあまりこちらのことを知らない。そういう意味で、大いにPRし、いろんなアイデアを駆使して、活性化できればいいと思っております。できるだけ協力はさせて頂きます。

- 鈴川委員

京都リサーチパークの鈴川と申します。京都リサーチパークというのは、あまり皆さんの生活になじみがない場所なんですけれども、私どもの地区には京都市さんの京都高度技術研究所様、

情報関係で京都大学さんでいろんな研究をされている組織団体や、伝統産業やデザイン、工業デザインなどをされている京都市産業技術研究所。また、いろんな研究者の方、ノーベル賞候補の方もおられます。一方、ベンチャー企業、新しい会社、いろんな仕組み作りを考えておられるお客様もおられますので、何かこういう場所でいろいろな相談をしながら、できることを探していきたいと思っております。よろしくお願い致します。

- 中辻委員

大内学区の自治連合会長、中辻でございます。よろしく申し上げます。大内学区は、梅小路公園の真北にあり、梅小路公園も中央卸売市場も大内学区の中でございます。京都水族館が出来る時に、オリックスさんと京都市さんとでいろいろ話し合いました。最初京都市さんが「駐車場をつくる」ということで、「京都はやはり、歩くまちであり、車はいらない」と、我々強引に言いまして、京都市さんに認めて頂きました。我々としては、学区の安心安全を確かめながら、活性化をして頂きたいなと思っております。ありがとうございます。

- 西村委員

七条学区の自治連合会長を務めております、西村でございます。よろしくお願い致します。実を言いますと、自治連合会というのは、地域、学区が本当に安心安全で、本当に和やかに地域住民の皆様が生活をしてもらえるような地域づくりということをするものだという事で、今日までやってきました。3年先ですか、鉄道博物館ができるということになりますと、その博物館に尾一番近い学区が私どもの七条学区になります。そのようなことで、これからは内々のことだけを固めるのではなしに、やはり、外側に向かって、地域が活性化するように考えて行かないといけないと思っております。子供がちょうど七条中央サービス会という商店街に所属しておりますので、これからも、市村さんが梅小路の活性化に頑張ってもらっていますので、商店街を束ねて頂く上におきまして、発展する上におきましても、できるだけ我々も力を出していかなければと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

- 中井委員

西本願寺の中井と申します。西本願寺では、昨年親鸞聖人の750回大遠忌法要をさせて頂きまして、それをひとつのきっかけとして、特に門前町の方々には、いろんな地域活性化と、本願寺と密着した企画を立ち上げて頂きました。どうしてもお寺と申しますのは、敷居が高い。特に西本願寺は全国1万300ヶ寺の総本山となりますので、全国の御門徒の方々のお寺というイメージがありますが、今も組織の改革を致しまして、より外に向けて、西本願寺をアピールしているということになりました。私の上職からも今回の企画には積極的に参加するようと言われておりますので、これからの活性化に向けて協力させて頂きたいと思っております。よろしくお願い致します。

- 徳永委員

東本願寺の徳永と申します。どうぞよろしくお願い致します。東本願寺は隣の西本願寺と同じ

ように親鸞聖人の御教えを広く伝えるための活動を行っておりますが、御門徒さんだけのためのお寺ではなくて、地域の方、また、観光で来られた方々、東本願寺に来て頂いてその御教えをそこで聞いて頂く、そういったことに繋がるようなこともしていきたいと、いろいろと研修なり、一般の方々対象のそういったことを行っております。これまでも下京区さんの下京門前町ルネッサンスでありますとか、この度 8 月 25 日に京都駅前であります夏祭りの行事にも参画をさせて頂きます。いろいろと宗派として、地域の、社会の、そういった取組みにも積極的に参画をさせて頂くという姿勢を持っておりますので、この度の下京区西部エリアの活性化につきましても、宗派を挙げまして、協力させて頂きたいということでもよろしくお願い致します。

- 中川委員

公益財団法人角屋保存会の理事長の中川清生でございます。併せて角屋もてなしの文化美術館の館長を務めております。私どもは平成元年に財団を設立致しまして、この 4 月 1 日に公益財団となりました。事業と致しましては、重要文化財の角屋の建物、美術品の保存公開、それから調査研究業務を行っております。なぜ調査研究業務をしているかと言いますと、やはり、島原に対するイメージが、江戸の吉原と同じマイナスイメージで見られているのが現状です。江戸の吉原と同じようなイメージのままですと、人様にお見せするというのは難しいと思います。先ほど講演の中で井筒さんもおっしゃいましたが、温故知新、やはり、故きを温ねて新しきを知る。これが非常に重要であります。調べて参りますと、島原と吉原は全然違います。そういうことが判明して参りました。宴会業務を行う場所が島原でした。吉原は宴会業務をやめてしまう。しかし島原は、歌舞音曲、歌や舞いを伴う宴会業務のところであったということと、俳壇歌壇が出来ておりました。そういう文芸の場所でもございました。それを皆さんに知って頂くべく、歌碑句碑の文芸碑を作りまして、文芸碑マップを皆さんにお配りして、島原の文化面も見て頂こうと、そういう活動もしております。今後ともどうぞ皆様にもご協力頂きたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

- 平野委員

JR 西日本の平野と申します。ご案内の通り、鉄道会社でございまして、鉄道の面でまだまだ足りないところがありまして、品質を上げて行かなければいけないのですが、それに加えまして、最近では地域の皆様と共に歩いていく会社ということを重視し、昨年からいくつかのこういった集まりに入れて頂き、まちづくりですとか、公共交通の活性化につきまして、あまり知恵はないのですが、一緒に考えさせて頂くというようなところでやってございます。このエリアにおきましても、長年梅小路の蒸気機関車館でお世話になっておりまして、先ほどから、何名かの方からご期待頂いております鉄道博物館におきましても、ただ今検討中でございます。平成 27 年度中になんとかオープンということで発表は致しましたが、まだまだ課題がたくさんございます。皆様のお知恵も頂きながら、ハードルを乗り越えて、開業にたどり着きたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

- 花崎委員

龍谷大学の学長室の花崎と申します。よろしくお願ひ致します。龍谷大学は本願寺の学寮を起源とした大学で、今年で創立が373年になります。現在、学生数が約2万人おり、教員が約500名、事務職員が約400名おります。こういうような人的資源をどうにかこの活性化の事業に結びつけたい。その橋渡しを担えたらなと思っております。それと、大学の大きな機能のひとつとして、社会貢献というのを掲げており、年間350ほどの市民向け講座を開いています。約1万人の方々に受講頂いております。下京区西部エリアに位置する大宮学舎でも開講しており、中高年の方を中心に、たくさん来て頂いております。その様な事業も皆さんと連携しながら企画していけるのではないかと思っておりますので、なにとぞどうぞよろしくお願ひ致します。

● 太田委員

皆さん、こんにちは。続きまして、龍谷大学のひとつの組織であります龍谷ミュージアムから参りました太田と申します。どうぞよろしくお願ひ致します。龍谷ミュージアムは昨年の4月に開館をさせて頂きまして、まだ新しいミュージアムですが、仏教の総合博物館ということでやらせて頂いております。わかりやすく仏教を大学の施設でありますけれども、地域の市民の方々に広く伝えさせて頂きたいというコンセプトです。それから、開館当初から地域の皆様方と協働し、また活性化しということ、理念の基本とさせて頂いて、具体的には門前町の皆様方、植柳地域の皆様方と活動をさせて頂いております。今般、この検討会議の方に参加させて頂きまして、その協働の幅が広がることを期待しております。また、そのことが開館間もない我々のミュージアムの認知度のアップに繋がればと考えているところでございます。どうぞよろしくお願ひ致します。

● 谷口座長

皆さん、ありがとうございます。ご協力頂きまして本当に助かりました。

④ 意見交換（エリアの魅力と課題について）

● 谷口座長

最後の意見交換ということで、少人数に分かれて、お話をしていきたいと思っております。まずは、我々が対象としておりますこのエリア、どんな課題、魅力があるのかということ、皆さんと一緒に考えていきたいと思っておりますので、ひとまず、飲み物と資料、カバンをお持ち頂いて、下がって頂けますでしょうか。机を出して、4つの島をつくります。（座席移動）

それでは、それぞれのテーブルで、このエリアの魅力と課題を挙げて頂きたいと思っております。なぜ今日この魅力と課題をそれぞれ挙げて頂くかということですが、この会議、まずは、この地元をそれぞれ学んでいこうということで、次回の会議は部屋の中で議論するのではなくて、街に出て知らないところを学ぼうというまち歩きを検討しています。まち歩きをする上で、皆様から、それぞれ、どこ歩いたらいいのかというヒントを頂きたいと思っております。文化、歴史、いろいろありますが、是非、素敵な飲み屋も教えて頂ければと思っております。素敵な遊ぶところ、場合によって

は、地図に乗っかってこないことも、外に書き出して頂いたらと思います。今から約 20 分くらい議論して頂きたいと思います。

各テーブルには、進行役の方がそれぞれ入って頂いています。手を挙げて頂けますか。ありがとうございます。では、進めて頂きますようお願い致します。

⑤ その他（意見発表）

● 谷口座長

それぞれテーブルのお話の中で、「これが心に残った」、「他の人にも見て欲しい」、「今まで気づけなかったこんないいところがあった」等ありましたら、手を挙げて発表して頂ければ。いかがですか？

● 齒黒委員

私どものテーブル（③）の中で、特にここがええというところがなくて、課題がほとんどの中で、駅関係の課題、梅小路公園、市場も結構ございました、あと商店街の課題がありました。西本願寺さん、東本願寺さんのお寺さんとの連携、大きく分けてそういった課題が出ました。後、全体的には、「活性化と言って何をどうするんやろうな」と。それぞれの各施設は特徴があり、それなりに機能はしているのではないかと思います。エリアの活性化を、その相乗効果でなんとかするのではないかという意見もあるのですが、実際、これをどうしていくかというのは、これからの検討会議の議論の本質ではないかなと思いました。

● 谷口座長

その通りでございます。そこが今までの形とは違い、今まではどうしても、政策的、戦略的に方向を決めて、みんなについていくという流れでしたが、この検討会議は、僕の認識では、今特に絵を描いているわけではなく、大きなものはありますが、ここで皆さんが議論の中から紡ぎだしていくと言いましょうか、内から出るもので作っていく、そういう会だと思います。「誰かが考えてくれるやろう」ではなく、「わしが考えてやる」という勢いで、お願いできたらと思います。

他、いかがでしょうか？

● 北島委員

だいぶ前から、梅小路公園には防災訓練とか、お祭りなどの関係でやっておりますが、リサーチパークとなりますとなかなか一緒になんかさせて頂くというのはなく、いろんな方がいろんなことを考えているんですけども、時々場所を貸したり、借りたりということで今日まで来ております。皆さん、何かいい知恵があれば一緒に考えて行きたいと思います。

● 谷口座長

ありがとうございます。リサーチパークさんいかがですか？

- 鈴川委員

一緒に考えられたらと思います。

- 谷口座長

一緒に考えられる定期的なミーティングとかありましたか？ないのですか。今度すし市場ができるということで、誘って頂くとか。そういう飲み会から何かが生まれることがあるかもしれません。井筒さん、いかがですか？

- 井筒委員

学校を作りたいです。市場の方がおられなければ話せるのですが、あの辺りを全部更地にして、流通部門を1/4くらいにエリアを縮小できるのではないかと。残りの部門を、留学生一万人くらい入れるような京大芸術学部を作りたい。もうひとつ、龍谷大学は医学部を作らないといけないキリスト教系の医学部はあるのに、仏教系で医者を作る学校がないというのは、僕には信じられません。今言ったことは忘れてください。

- 谷口座長

いえ、忘れません。今語った夢は、1200年後とは言いませんが、もしかしたら近い将来というのがあります。そういうアイデアを出したいなと思います。

(7) 閉会

- 谷口座長

では、今日出して頂いたそれぞれの課題や魅力というのは、事務局でまとめて頂いて、次回9月頃になろうかと思いますが、第二回会議の時は、全員一緒に歩くというのはとても大変と思いますので、グループに分かれて、実際に見て歩き、そして学んでいきたいと思っています。

先ほど冗談で飲みながらという話をしていましたが、僕の勝手なお願いですが、せっかくすし市場が8月5日にオープンされるということですので、ぜひ市場の見学に行きたい。この会議が終わった後、食べながら飲みながら見学をさせて頂けたらと思います。

それぞれテーブルで名刺交換でもして頂いて、会議の時だけではなく、日常の繋がりの中から新しいものを生み出していけたらいいなと思っています。今日はこの辺りで終えたいと思いますが、最後一言しゃべっておかないと寝付けないう方いらっしゃったら、どうぞ御発言をお願いします。

- 市村委員

人の気持ちって随分変わるものです。例えば、水族館が出来る前の時点と、実際目の前に水族館が営業されている時点とでは、人の感覚って随分変わります。「なんでこんなところに水族館作るんや」と反対していた人が、こないだ「年間パス買った」と言う。この梅小路界限も鉄道博物館が出来、蒸気機関車館があり、すし棟が出来たので、七条の大宮よりもうちょっと西で降りる人が、中心が西の方に移ってきます。この界限の人の意識が相当変わってくると思う。今まで

はいろんなネタがあったが、花が咲いていなかった。これからそのひとつひとつのネタが咲いてくるとして頑張りたいと思います。以上です。

● 谷口座長

ありがとうございました。今日井筒さんも話されていたように、「京都に出来たからこそ、知を学ぶ」、そういう空間に京都人がしていく。そういう場に、それぞれの施設がなっていくといいと思います。いろんな刺激のあった会議になりました。

では、今日の会議はこの辺で終えさせて頂きたいと思います。これから長丁場になろうかと思いますが、どうぞよろしくお願ひ致します。ありがとうございました。

第一回参加者

(五十音順, 敬称略)

	団体名	役職名	氏名
座長	コミュニティデザイン研究室 同志社大学大学院総合政策科学研究科	代表 嘱託講師	谷口 知弘
	梅小路活性化委員会	委員長	市村 勝
	大阪ガス (株)	京滋地区副支配人 コミュニティ室長	服部 博一
	オリックス不動産 (株)	京都水族館支配人	升本 忠宏
	京都駅ビル開発 (株)	取締役営業部長	奈倉 宏治
	京都市	下京区長	山本 耕治
	京都市	総合企画局政策企画室長	柴山 薫
	(公社) 京都市観光協会	事務局長	山崎 晶子
	(公財) 京都市景観・まちづくりセンター	事務局次長	齒黒 健夫
	京都市中央卸売市場協会	専務理事	北島 誠一
	京都市中央卸売市場第一市場	次長	林 眞佐男
	京都商工会議所	産業振興部まちづくり推進担当課長	外池 順一
	(公財) 京都市都市緑化協会	専務理事	北村 康二
	(特活) 京都・地球みらい機構	常務理事	高梨 日出夫
	京都府旅行業協同組合	理事長	山本 芳孝
	京都リサーチパーク (株)	営業開発部長	鈴川 和哉
	自治連合会 (大内自治連合会)	会長	中辻 正次
	自治連合会 (七条自治連合会)	会長	西村 為彦
	浄土真宗本願寺派 (西本願寺)	宗務所所務部<文書担当>課長・総長秘書	中井 真人
	真宗大谷派 (東本願寺)	宗務所総務部次長	徳永 誠
	(公財) 角屋保存会	理事長	中川 清生
	西日本旅客鉄道 (株) (JR 西日本)	近畿統括本部京都支社総務企画課 (地域共生) 担当課長	平野 剛
	(学) 龍谷大学	学長室課長	花崎 正順
	龍谷ミュージアム	事務部次長	太田 功

< 検討会様子 >

